

銘柄豚の安定出荷と販売力強化に向けた取組み

研究員 福田彩乃

多くの養豚産地は、輸入豚肉や国内の他産地との差別化のため、飼料の配合設計等を工夫し、産地等の名称を付けた銘柄豚を立ち上げている。2014年時点で国内出荷頭数の半数が銘柄豚とされる。^(注1)

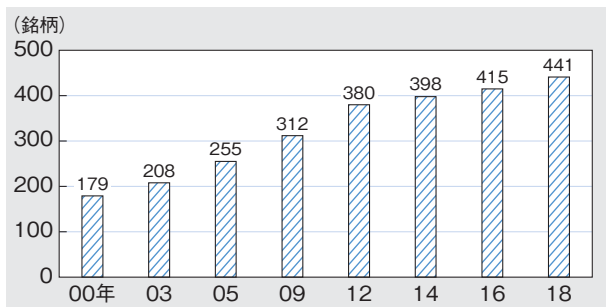
以下では、銘柄豚の生産の動向を把握したうえで、茨城県内で生産されるローズポークを事例に安定出荷と販売力強化の取組みを紹介する。

1 銘柄豚の動向

都道府県や生産者団体等へのアンケート調査を取りまとめた『銘柄豚肉ハンドブック』によると、銘柄数は00年の179から12年の380へと大きく増加した。その後も緩やかな増加が続き、18年に441となっている(第1図)。

第2図に示すように地域別の銘柄数は、養豚の盛んな関東や九州・沖縄で多く、2地域で全体の6割を占める。都道府県別には、北海道(35)、東北(60)、北陸(17)、関東(140)、東海(42)、近畿(14)、中国(13)、四国(11)、九州・沖縄(103)の順となっている。

第1図 銘柄数の推移



資料 食肉通信社(2018)をもとに作成
(注) ハンドブックは2~4年ごとに刊行。

銘柄の立ち上げ主体は個々の生産者、系統団体、食肉メーカー等で、年間出荷頭数は、数百頭から数十万頭までと差が大きい。

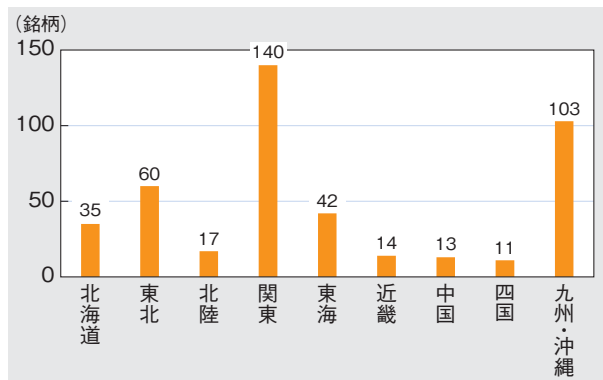
2 ローズポークの事例

(1) 概要

ローズポークは、茨城県銘柄豚振興会が管理する銘柄豚である。振興会は1983年に生産マニュアルを含む銘柄規約を制定し、同年から県内で生産を開始している。銘柄豚のなかでは、かなり早い時期の取組みといえる。

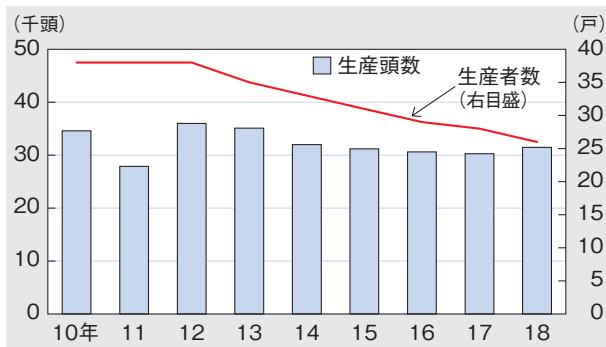
同銘柄を生産する指定生産者は、マニュアルを遵守する必要がある。具体的には、県が改良した種豚を交配に使用した三元豚^(注2)とすることが求められる。また、弾力があり、きめが細かい肉質を実現するため、肥育後期(出荷前の2か月間)に大麦を15%配合した専用飼料を給餌するとしている。こうして生産された豚がローズポークとして、振興会が認定した

第2図 地域別の銘柄数(2018)(n=435)



資料 第1図に同じ
(注) 各銘柄は都道府県ごとに区分され掲載されており、同区分に基づき、地域別に集計したもの。なお、同区分で「全国」とされる6銘柄は除いた。

第3図 ローズポークの生産者数と生産頭数の推移



資料 茨城県庁提供資料をもとに作成

県内外の指定店で販売される。

(2) 夏場の出荷量の落ち込みを緩和

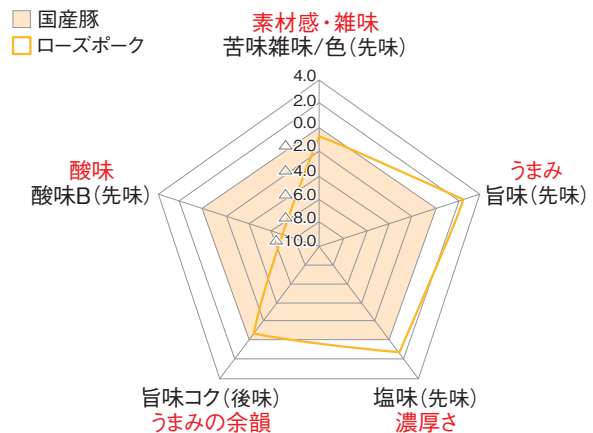
同銘柄の生産者数は、13年以降減少しているが、生産頭数は生産者の規模拡大により3.1万頭前後を維持している(第3図)。

生産の課題は、年間を通じた安定出荷であるという。例年、6～7月の出荷量は、暑熱ストレスによる受胎率低下で、ピーク時(11月)から2～3割減少する。振興会は受胎率向上のため、獣医師と連携し精液の管理方法や人工授精のタイミングを指導している。生産者の授精技術向上で、夏場の落ち込みが緩和されつつある。

(3) 新たな取組み

同銘柄は13年の食肉産業展の「銘柄ポーク・グランドチャンピオン大会」で優秀賞を受賞するなど、肉質の高さが評価されてきた。しかしここ数年、国産豚肉の価格高騰で、量販店は輸入物の取扱量を増やす傾向にあるという。そうしたなかで、ローズポークの特長を量販店のバイヤーや消費者にどのように伝

第4図 ローズポークの味分析



出典 ローズポークHP

えるかが課題と考えている。

18年に同銘柄のおいしさについて、外部の専門企業に分析を依頼した(第4図)。うま味、濃厚さ等について数値化し、商談の際の説明材料として活用していく予定である。

また、生産開始当初からパッケージ等に使用してきたロゴマークを19年度中にリニューアルする計画である。リニューアルにあたっては、ローズポークのコンセプトを改めて確認することが重要としている。生産者や販売店、JA担当者の意見を取りまとめ、ロゴマークのデザインや今後の販売戦略に生かす考えだ。

ローズポークは1983年から続くロングセラーブランドである。引き続き消費者に愛されるため、販売力強化を進めており、今後の展開に注目したい。

<参考文献>

- ・食肉通信社(2018)『銘柄豚肉ハンドブック2018』
- ・淡野寧彦(2015)「地理学の視点からみたブランド畜産物の特長と課題—銘柄豚を例に—」『関西畜産学会報』第173号
- ・福田彩乃(2020)「公的機関を中心とした豚の品種改良と今後の展開」『農中総研 調査と情報』1月号

(ふくだ あやの)

(注1) 数値は淡野(2015)によるもの。『銘柄豚肉ハンドブック2014』に掲載された各銘柄の年間出荷頭数をもとに算出している。

(注2) 三元豚とは複数品種を掛け合わせたもので、具体的な交配様式は福田(2020)を参照。